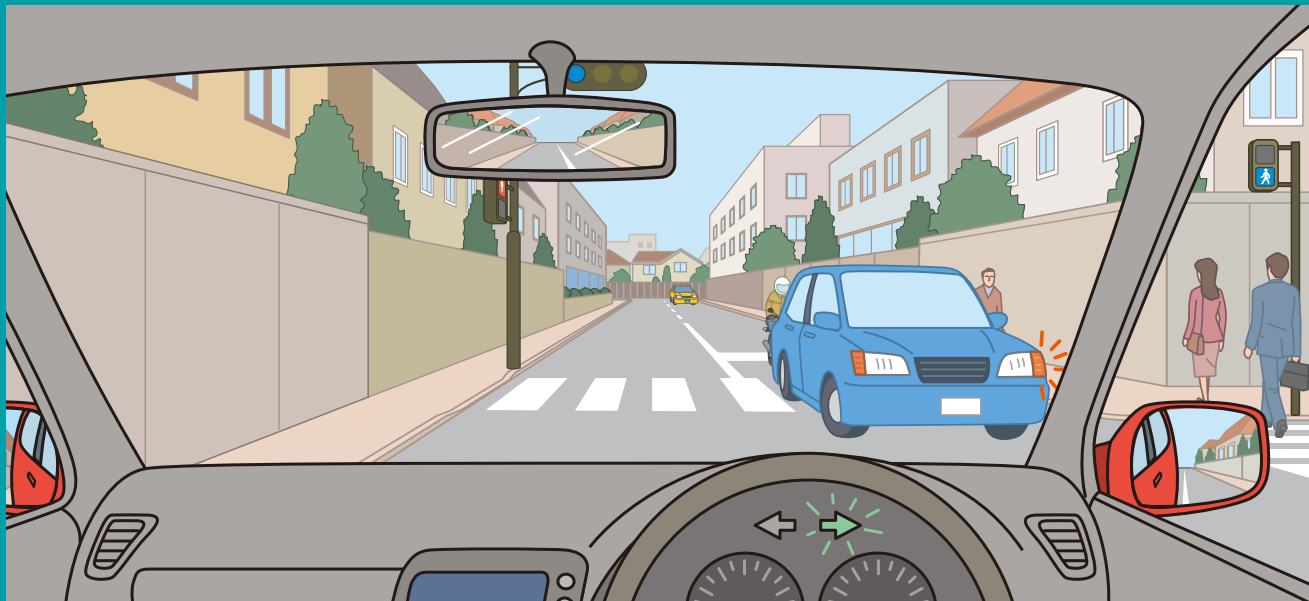


KYT 危険予測トレーニング

第90回 対向左折車に続いて右折しようとする時(四輪車編)

あなたは交差点で右折待ちをしています。
対向車が左折の合図を出したので右折を開始しようと思います。
安全に走行するためには、
どのようなことを予測する必要がありますか？



交通事故を回避するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、対向左折車に続いて右折しようとする時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつければ良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
 - 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
 - その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。
- 本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL : 03(5412)1736 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業(株)

SJ クイズ ?

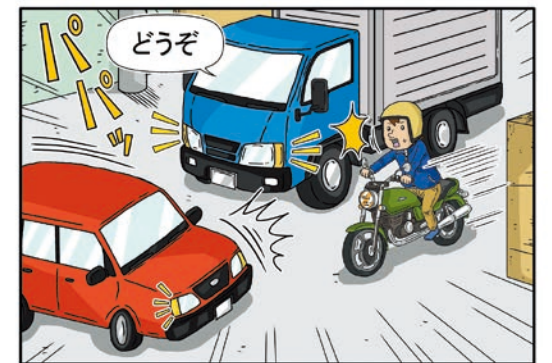
二輪車編

Q1 2023年の交通事故死者数を状態別にみると、2022年から増加数が最も多いのは次のうちどれでしょう？
①二輪車乗車中 ②自転車乗用中 ③歩行中

Q2 2023年の車両相互における二輪車乗車中死者数(第1・第2当事者※)を相手当事者別にみると、最も多いのは自動車(四輪車)ですが、その割合は何%でしょう？
①約87% ②約92% ③約97%

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

Q3 2023年の車両相互事故による二輪車乗車中死者(第1・第2当事者)を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？
①出会い頭 ②右折直進(右直事故) ③正面衝突



「解答」はP7下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<https://global.honda.jp/safetyinfo/sj/>

SNSで交通安全の情報を発信中！

HondaではX(旧Twitter)、Instagram、Facebookを活用して交通安全に役立つ情報を随時発信しています。ぜひ、ご利用ください！



おっちゃんは交通安全を広めるネコ「できるニャン」！
みんなに安全に過ごしていただくための情報をお伝えするのでフォローしてニャン！



Honda交通安全啓発キャラクター「できるニャン」

SJ編集部だより

～交通事故死者ゼロをめざして～

2022年まで減少傾向にあった二輪車乗車中の交通事故死者数が2023年は増加に転じた。事故類型別にみると、車両相互が大きく増えている。車両相互事故の相手当事者の多くは四輪車であることから、ライダーだけでなく、ドライバーも二輪車に対してより注意しなければならない。ドライバーは運転中、道路で共存している二輪車をどこまで意識しているだろうか。ドライバーに「もっと二輪車のことをわかってほしい」という思いから、Hondaでは様々な啓発活動に取り組んでいる。ドライバーが二輪車への理解を深めれば、二輪車対四輪車の事故を防ぐことにつながる

考えているからだ。交通事故死者ゼロに向けては、ライダーとドライバーがお互いを理解し合うことが必要不可欠といえるだろう。ライダー側も、特に四輪免許を持っている人は、自分が四輪車のハンドルを握っている時の意識を思い出しながら運転することが重要だ。お互いを認め合うことで真の共存となる。こうした交通文化の醸成を日本から始めたい。二輪車やライダーに対する理解を深めたいというドライバーは、P1～2で紹介したモビリティの講習やHondaが公開している動画を利用してほしい。